

山形森林管理署	
タイトル	コンテナ苗植付け現地見学会
実施年月日	平成25年10月17日(木)
実施場所	山形県尾花沢市 1099林班 分収造林跡地
参加者	局署：山形森林管理署、山形森林管理署最上支署 13名 外部：森林農地整備センター、北村山森林組合 5名 計 18名 台風の影響で一日延期したことにより、市町村、山形県森林組合連合会、民間事業者等は欠席。
【取組の概要】 山形森林管理署としては初めての植栽を幅広く関係者に公開し、全国で普及が進められているコンテナ苗による低コスト造林について考える機会とした。	
【取組の成果】 森林・林業の再生に向け、伐採・搬出の低コスト化のみならず、造林の低コスト化も重要であるが、その一つであるコンテナ苗による植付けコストの削減の可能性と問題点について意見交換できた。	
【出された意見】 実際に作業を行う立場から、コンテナ苗を使用することによって普通苗より短時間かつ効率的に行うことができそうだ。 尾花沢市のような豪雪地域では、秋植えで植栽されたコンテナ苗が上手く活着しなかったり雪折れで枯れたり、融雪の際幹が引っ張られて損傷することにより成長を阻まれることが懸念される。	
【今後の課題】 植栽後の生育状況について適宜調査を行い、データの蓄積を進める必要がある。 今後とも、国有林が率先して低コスト化を進める新技術などの紹介、普及に取り組む必要がある。	

タイトル コンテナ苗植付け現地見学会



コンテナ苗の生産風景（蔵王町）



成長したコンテナ苗（蔵王町）



箱積みされたコンテナ苗



コンテナ苗の説明



容易な穴掘り



植栽後